

対 象 学 年	
園 児	小学生(低・中・高)
	中学生以上

ネイチャーリースに挑戦



プログラムの概要

自然の家の森には、フジやクス、アケビなどいろいろなつる植物があります。つる植物は近くの木や枝に巻きつき、成長していきます。しかし、そのままにしていると木の成長を妨げる原因になったり、雑木林が荒れてしまったりする原因になります。そこで、定期的な除去が必要になります。

つるといっても、色や太さ、樹皮の様子、つるの巻きついている様子なども様々です。そのようなつるを上手に利用し、森の中にある木の実やおちば、小枝などを使ってオリジナルのリースを作る活動です。

所要時間：3 時間程度

ネイチャーリースに挑戦!

1 活動のねらい

- ・素材集めを通して、様々な形や模様、手ざわりのつるがあることや、つるがどのように木に巻き付いているかなどに気づく。
- ・素材をいかしたクラフト作成を通して、自然の中から得られる温もりや自然のよさを体感する。
- ・友達の作品を鑑賞し、互いの作品のよさを認め合う。

2 活動のフィールド

- ・自然の家周辺ならどこでも可
- ・何人でも可能

3 準備品

団体・個人で用意するもの：軍手、木工用ボンド、ホットボンド（指導者が持っている则便利です）
古新聞、はさみ、細めの針金、紐、飾りに使う木の実
リボンやモールなど飾りに使えそうなもの、カラースプレー
自然の家で用意するもの：のこぎり、なた、きり、ナイフまたは剪定ばさみ、工作板

4 活動の手順

（1）指導者・引率者が行う事前準備

- ①事前打ち合わせの時や、子どもたちを自然の家に連れてくる前に、現地下見を行いましょう。どこに、どんな木の実やつるがあるか確認しておきましょう。
- ②活動を始める前にも、再度、現地下見を行いましょう。安全第一です。

（2）活動の手順

- ①これからやることを確認します。

ここでは、「クリスマスに飾るリースを知っているかな?」、「世界に一つだけのリースを作ろう」、「お部屋に飾るとしたら、どんなリースが似合いそう」のように、参加者の心をワクワクさせるような語りかけがあるとよいでしょう。

- ②安全の確認をします。

ここでは、「つるをとるとき、藪に入ったり、枝がはねたりするから、目に入らないように気をつけてね」「つるにぶら下がると切れることがあるよ」「ツタウルシやウルシなど、かぶれる木に気をつけよう」といった、最低限の安全について、実際にその植物を見せて指導するのがよいでしょう。

- ③自然の家周辺の森で材料を探します。

- ・自然の家周辺の森で、いろいろなつるを探しましょう。

（フジ、クズ、アケビなどがあります。）

- ・つるは必要な分だけにして、葉や枝などいらぬ部分はその場で取り除いておきましょう。



クズのツル



アケビのツル



- ・木の実、どんぐり、カラマツのマツボックリだけでなく、いろいろなものがあります。
(しかし、大きなマツボックリは自然の家の森にはありません。)



ハンノキ



カラマツ



タニウツギ



コナラ



ヤシャブシ



ナラガシワ



ツルリンドウ



ツルウメモドキ

- ④ 取ってきたつるをリースの形に丸めていきます。
- ・はじめに、つるや枝などで形を決め、残りのつるを巻きつけていきます。
 - ・リースはどんな形でもかまいません。
四角や三角でもOKです。



- ⑤ 作ったリースに、飾りをつけましょう。
- ・自然の家の森で拾った木の実や落ち葉、団地で用意したリボンや小物などを木工用ボンドや細い針金などで付けます。
 - ・木の実などをスプレーで色付けしてもきれいです。



マツボックリ



ドイツトウヒ



ヒマラヤスギ



モミジバフウ



ストローブマツ



オニグルミ



エゾマツ



クヌギ



フジのツルとヒマラヤスギ

- ・落ち葉を使って飾りを作ってもきれいです。
- ・枝を輪切りにしてプレートを作ってもいいですね。

- ・ここで、指導者の方はホットボンドを用意しておく、付けにくい木の実など簡単につけることができます。



- ⑥ 吊り下げる部分をつけて完成です。
- ・針金や紐などでしっかり付けます。
 - ・つるで作成する場合は、1本ではなく何本が合わせ作りましょう。



ふりかえりのポイント

- ・「〇〇君は、～しながらがんばっていたよ。」「〇〇さんの～はすごいね。」と、子どもたちのがんばりをおもいきり褒めてあげましょう。
- ・「先生、あのね～を工夫したんだよ」や「〇〇さん、あのね～がきれいだね。」の時間を設けてあげ、子どもたちが感想を発表したり、友達のいいところを褒めあったりして、気持ちを表現する時間を作ってやるのもよいでしょう。
- ・指導者からの問いかけの言葉としては、「〇〇君、長いつるをとったけど、どうやってとったの」、「森の中に入ってみてどうだった」など、子どもたちが表現しやすい問いかけがよいでしょう。



5 活動上の留意点

- (1) クリスマスにこだわらず、飾りとして作製すると幅が広がります。
- (2) つるを巻くときに、他の人につるが当たらないように広いところで活動しましょう。
- (3) ボンドを多く付けすぎると、乾くのにかかるので注意しましょう。
- (4) 用意する木の実は、乾燥させておくと使いやすく便利です。



ねらい別活動プログラム集「ネイチャーリースに挑戦」

発行日：平成19年2月28日

発 行：独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家
<http://myoko.niye.go.jp/>

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2
執 筆：大瀬 孝志（事業推進係主任）